

ZEN AUTO

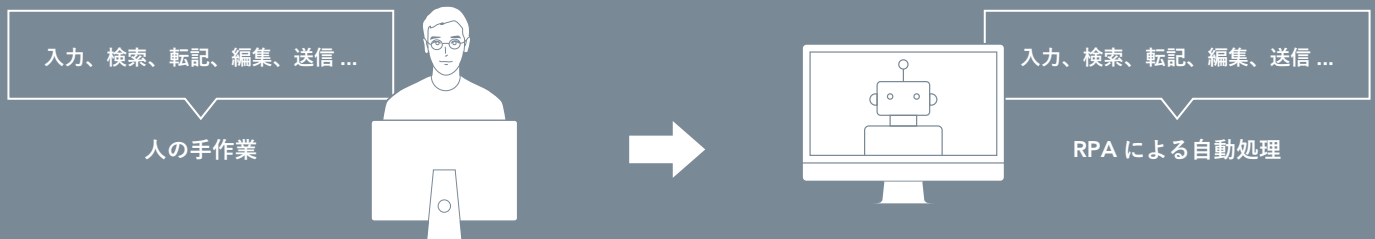
新たな可能性の創造と業務効率化を目的とした、フルオーダーメイドの全自動化サービス

こんなことで お悩みではありませんか？

膨大な事務作業を自動化したい ...
自動化ツールを使いこなせる自信がない ...
自社に合った自動化で、他社と差をつけたい ...
エンジニアがないので、トラブルに不安がある ...
自社の何を効率化できるのかわからない ...

その業務、ZEN AUTO の RPA で

「全自動化」しませんか？



RPA を導入するとできること



業務の効率化

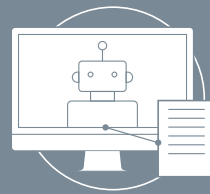


大幅な人件費の削減



人的ミスを防ぐ

+
さらに



API を利用しない情報取得



比較サイトの作成

RPA が求められるようになった社会的背景

人口の減少

少子高齢化という社会的背景から、現在でも既に多くの企業が直面しているのが「人手不足」です。今後さらに深刻化することが予想されており、2030年には、国民の約2.5人に1人が65歳以上となるとされています。人手不足に対する対策は急がれています。

経済産業省の RPA 導入

2016年の終わり、財経新聞は経済産業省が RPA を活用した国会答弁集作成の高度化を検討していることを取り上げました。実際に日本の経済産業省は、2017年の通常国会から RPA を本格導入したい考えを明らかにしています。また調査報告書によると、2020年から実用化が予定されています。
(国会会議録等の分析高度化への人工知能利活用の可能性検証に関する調査研究 調査報告書 参照)



働き方改革

RPA の導入などによる働き方改革を支援するため、業務改善助成金などの制度も設けられています。生産性向上に役立つ機器・設備などを導入することにより業務改善を行い、その費用を支払うこと等の要件を満たせば、最大 100 万円の助成金が支給されます。
(厚生労働省 | 働き方改革特設サイト | 助成金のご案内 参照)

RPA の活用は、今後ますます期待されます。

p. 02 -

RPA とは？

p. 03 -

他社の RPA の問題点と解決

p. 04 -

導入の流れ

p. 05 , p. 06 -

p. 07 -

さらに、ZEN AUTO だけからできること

納品までの流れ / 費用について / お問い合わせ

RPA とは？

人に変わって作業を行う RPA (Robotic Process Automation)

RPA とは、業務フローなど「プロセス」を仮想上のロボット (ソフトウェア) で自動化するものです。例えばデスクワークの中でも、パソコンを使って行う定型的な作業 (ルーチンワーク) をロボットが代行することで仕事を自動化する仕組みです。

最近、「AI が人の仕事が無くす」とよく耳にしますが、その技術こそがまさに RPA なのです。

普及すれば、日本が抱える重大な課題である少子高齢化の中であっても、企業のさらなる発展につながります。

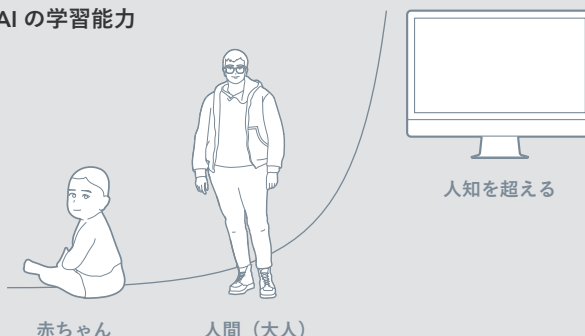
RPA と AI の役割



RPA の学習能力



AI の学習能力

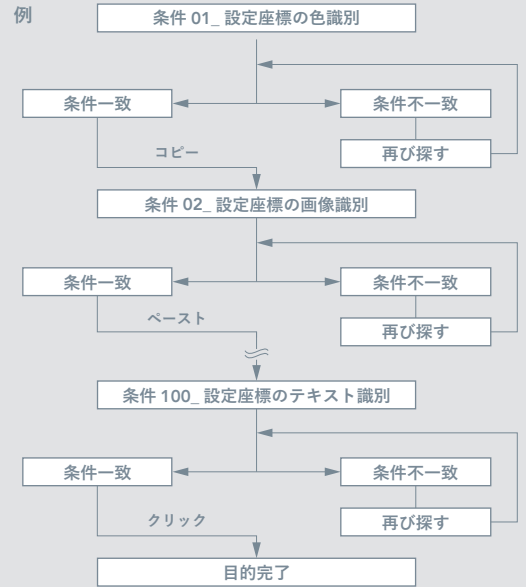
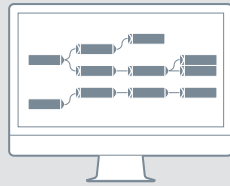


ZEN AUTO では AI の研究もしており、大幅なコストと工数の削減に成功しています。

3 年かかる学習を 1 ヶ月で、1 年かかる学習を 10 日で終わらせてしまうことができます。詳しくは、お問い合わせください。

他社 RPA のしくみ

他社の RPA ツールは一般的に、**ビジュアル言語**という形式をとっています。パズルの組み合わせで条件分岐を設定することで、簡単に自動化が組めるしくみです。右図のような RPA の設計をそのままビジュアル言語に反映させれば完成です。しかしながら、この設計自体の参入障壁の高さが問題となっています。



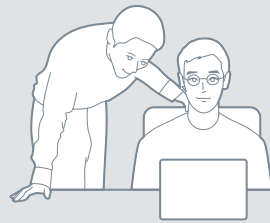
導入の流れ

他社の RPA 導入

- ① ② ③ ④



RPA システムのライセンス契約
国内外問わず、多くの RPA ツールが開発され、企業に提供されています。



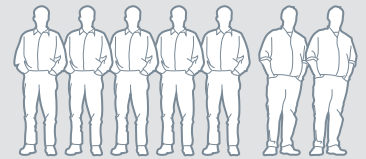
RPA 導入企業

RPA 導入企業（クライアント）が RPA コンサル会社に利用方法を学ぶ



RPA 導入企業

RPA 導入企業（クライアント）によるオペレート
ビジュアル言語を操作するオペレートは、RPA を学んだクライアント自身が行います。



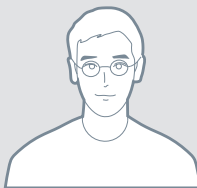
付随する部署の立ち上げ

RPA 事業部の立ち上げ、さらにエンジニアを用意する必要があります。

ZEN AUTO の RPA 導入

オーダーするだけで、ZEN AUTO が企業に合ったオリジナルの RPA を構築します。

●●を●●して●●と連携させたい

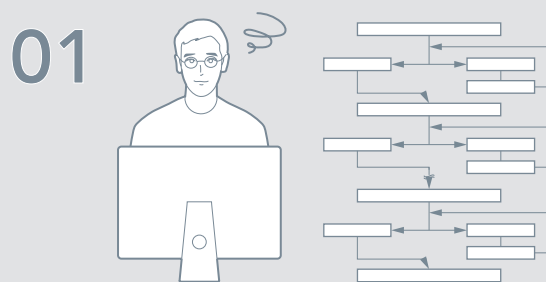


RPA 導入企業は、要望をオーダーするだけ

他社 RPA の問題点と解決

他社 RPA の問題点

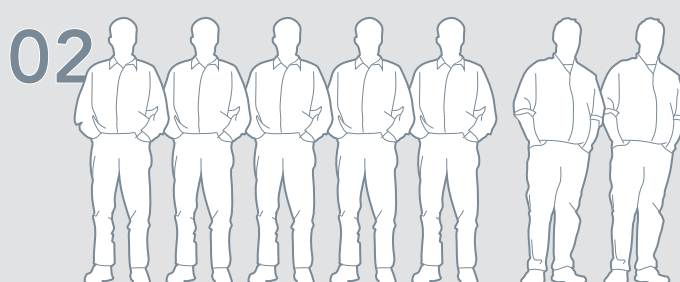
他社の RPA ツールの多くはビジュアル言語と呼ばれるもので、パズルの様な感覚でプログラムすることができることから、RPA の代名詞の様なツールになりつつあります。しかしここには、いくつかの**問題点**があります。



01 設計自体は自社で行わなければならないことが多く、参入障壁が高い

現在 RPA ツールを導入させるにあたり、専門知識をコンサルティングする会社が一般的な RPA 事業となっただけです。

→ 設計は ZEN AUTO が担います



02 3~5 人程度の RPA 事業部を立ち上げ、さらに 1~2 人程度のエンジニアを用意する必要がある

他社の RPA を導入する際、ビジュアル言語を操作するオペレーターが必要となり、また専門の部署を立ち上げる必要があります。RPA を導入しようとしても、その構築に伴う設計やメンテナンスを行う人材を確保しなければならないのです。

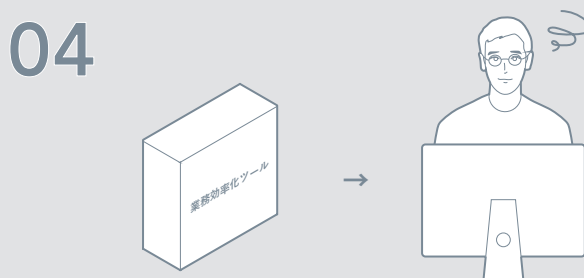
→ 要望をフルオーダーできるため、人材確保が必要ない



03 複雑な自動化の場合、素人が行うには限界がある

RPA のプログラム自体、設計の専門的知識を要する上に、ビジュアル言語では書きようが無い高度な設計には不向きなのです。

→ フルオーダーでさらにレベルの高い自動化を叶える



04 RPA ツール以外の選択肢をとった場合

通常の業務効率化ツールはパッケージ売りが基本となり、企業毎にその編集が必要になるため、これを自社用に修正するには多くの参入障壁・費用・納期・労力がかかってしまいます。

→ 既に導入している既存システムの上から構築できる

RPA は納期も早く、初期も高額な請求は致しません。また、既に導入済みの場合でも既存のシステムの上から残りのアナログ作業と重なってしまっている部分をロボットが代行作業することによってカバーすることが出来ます。

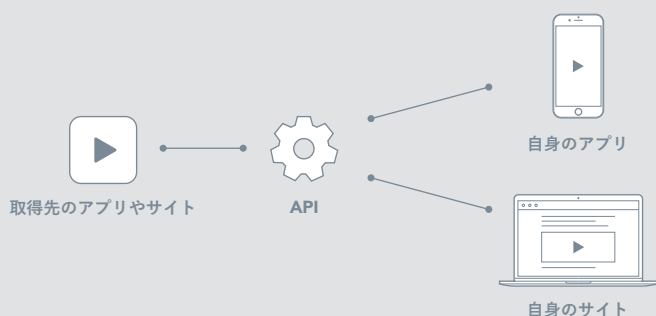
フルオーダーメイドで ZEN AUTO にお任せ。

「完全丸投げ」で解決します。

さらに ZEN AUTO だからできること

API を利用しない情報取得

API (Application Programming Interface) とは、コードの一部を WEB 上に公開することでソフトウェアの機能を共有することです。これにより、自分のソフトウェアに他のソフトウェアの機能を埋め込むことができるようになるため、アプリケーション同士で連携することが可能になります。



API の目的

例えば、大手のグルメ情報サイトなども API を提供しています。彼らを持つ膨大な店舗データを API を通して取得し、自身の Web サイトにも反映することができるのです。このように情報や機能を二次利用することにより、利用者自身のサービスや開発効率を向上させることが、API を利用する主な目的です。

API の問題点

しかし、API には機能の制限や利用条件があります。また、審査に合格しなければ API を利用することができなったり、使用方法を変更する場合はさらに厳格なポリシー審査を受ける必要があったりします。

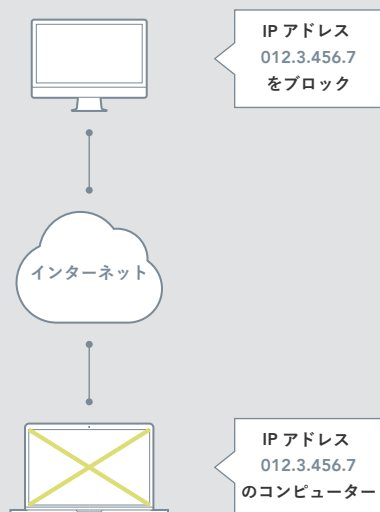
ZEN AUTO では、API を使わずに外部情報を取得することができます。

複数のロボットを 1 つの PC で稼働させ、情報を取得することができます。スクレイピング (情報抽出) ・クローリング (情報巡回) と呼ばれる技術です。これにより、いかなるサイト・独自ソフト・プラットフォームであっても、確実に情報を取得することができます。自動でサイト更新する比較サイトのシステムをつくったり、事業拡大に必要なリサーチをしたりすることができるのです。

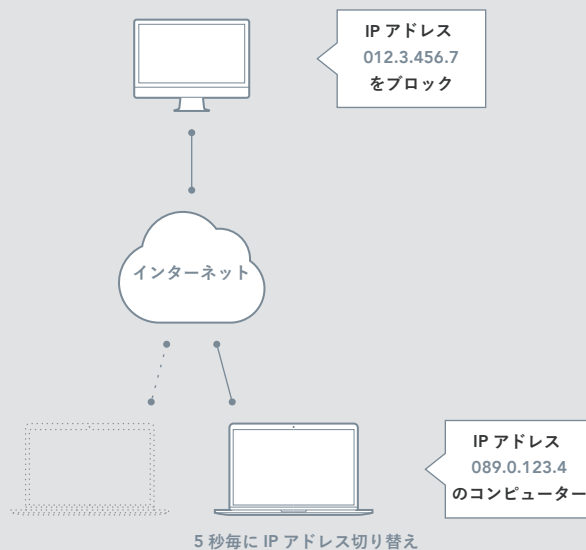
IP アドレス切り替え、ブロックを回避する

IP アドレスは、ネットワークの住所のような役割を持っています。外部からのアクセスをブロックするとき、大抵はこの IP アドレスを指定することによってブロックを行います。そのため、いくら API を使わず情報を取得しようとしても、IP ブロックをされてしまえば思うように情報を取得することはできません。

従来の IP ブロック



ZEN AUTO の IP ブロック回避



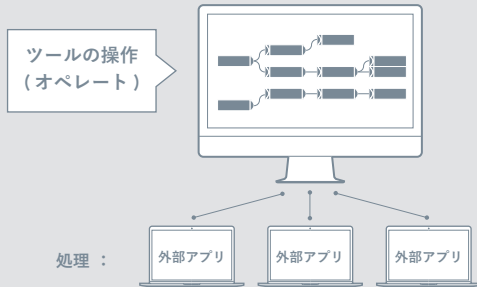
ZEN AUTO では、IP アドレスを 5 秒毎に切り替えることができます。

IP アドレスを特定しブロックしようとした時には、既に違う IP アドレスへと切り替わっているということです。

最適化された RPA 構築環境

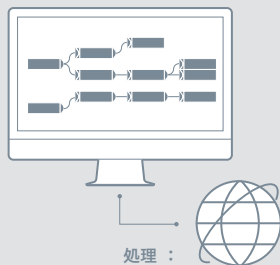
多重稼働システムとは、OS が動作する実際のコンピュータをソフトウェアによって仮想的に構築したものです。1 台のコンピュータに異なる OS を並列に実行させることができます。それぞれで得た情報は共有フォルダで全ての OS に共有されています。

他社 RPA の納品形態



PC をいくつも購入する場合

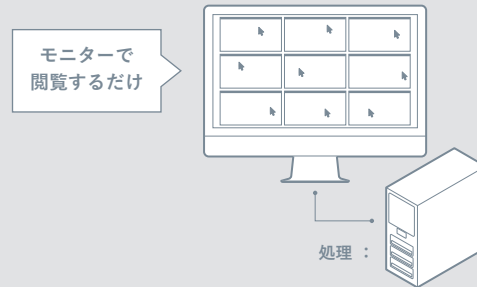
場所に困る / 非効率でコストがかかる / 画像認識の場合、同じ環境内で行うのが理想なため単一 PC の方が自動化に向いている



サーバー上で行う場合

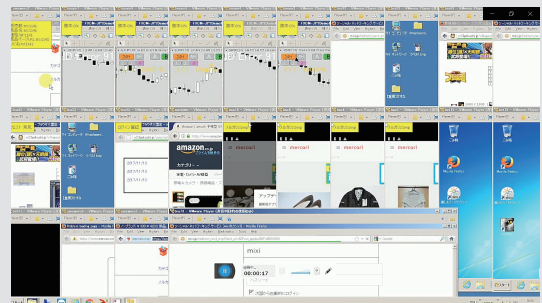
アクセスの度に課金することになるのでコストパフォーマンスが悪い / 社内の情報をオンラインで管理することになるためセキュリティが不安

ZEN AUTO RPA の納品形態



同時並行的に自動化するため PC のスペックを等分し OS を分割

マウスポインタが複数に



このように様々なプラットフォームを同時並行的に自動化し、その情報を共有しながら全体の業務フローを効率よく全自動化していきます。

ZEN AUTO では、 1 台の PC で複数の OS を同時並行的に操作させることができます。



業務の効率化

RPA は 24 時間 365 日休みなく稼働できるため、業務の効率化がはかれます。単純作業を RPA に任せることで、人間はよりクリエイティブな仕事に集中できます。業務のすみ分けを最適化することができるのです。



大幅な人件費の削減

優秀な社員 1 人分ほどの費用で、全てを補うことができます。他社の RPA を導入した際必要となる人材の確保も必要ありません。また単純作業は RPA に任せることで、人間の作業時間をよりクリエイティブな仕事に費やすことができ、生産性や品質を向上させることも可能になるのです。



人的ミスを防ぐ

RPA は決められたルールに基づいて作業を正確に行うので、人的なミスを起こすことなく、業務を正確に遂行できるようになります。



API を利用しない情報取得

複数のロボットを 1 つの PC で稼働させ、情報を取得することができます。これにより、今まで取得困難とされていた情報であっても取得できる可能性が広がります。事業拡大に必要なリサーチをしたりすることもできるのです。



比較サイトの作成

取得先サイトと連動し、自動更新することにより、かなり短時間かつコストをかけることなく比較サイトを作成することができます。



オウンドメディアの構築

御社の商品が常に上位になるようなオウンドメディアを構築することで、マーケティングツールとしてもご利用いただけます。海外などで IP ブロックをされることもありません。



どんなに難易度の高い自動化でも、1 週間足らずで納品可能

簡単なものと、最短 3 日ほどで納品となります。



複数のアプリケーションを同時並行的に操作できる

RPA は複数のアプリケーションを並行的に操作することができます。対象となるアプリケーションが 1 つに限定されないのが特徴的です。また、既存のアプリケーションの変更は不要です。

納品までの流れ

00 資料請求

気になったら、まずは資料請求をお問い合わせください。
簡単なムービーなどもご用意しております。

01 ヒアリング1 事業・業務内容

1社1社オリジナルのRPAを組むため、入念なヒアリングをさせていただきます、1からの構築を行います。
提示されたご要望に、できる限りご対応させていただきます。

02 ヒアリング2 技術・依頼内容

内部の業務の全体像・関係性・役割分担のヒアリングを行います。

03 ヒアリング3 詳細

想定する業務全ての詳細な条件分岐のヒアリングを行います。

04 提案

ヒアリングした項目をもとにエンジニアと会議し、
具体的な設計フローを提案いたします。
最終的な話し合いの元、見積書を作成いたします。

05 見積書作成

06 契約

最終的な確認が完了しましたら、依頼書に記入をお願い致します。
事前に要望の内容をまとめておいて頂けますとスムーズです。
記入が済みましたら、ご契約、入金となります。その後、工程表を作成し納品準備を行います。ハンコ・印紙・代金をお持ちください。

07 ご請求（初期費用）

契約となりましたら、まずは初期費用をお支払いいただきます。
初期費用受領が確認できましたら、設計作業に入ります。

08 初期費用受領 → 作業開始

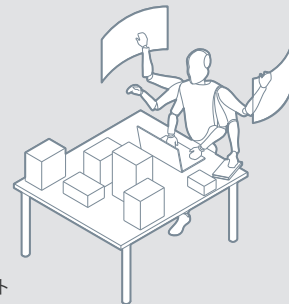
09 納品

簡単なものと、最短3日ほどで納品となります。
納品期間についてはご相談下さい。

10 ご請求（月額メンテナンス）

ほとんどが遠隔操作で可能な作業となります。
特別なメンテナンスについては別途費用頂くこともございますので
ご了承下さい。

費用について



電子労働者を雇う

電子労働者（デジタルレイバー）はソフトウェア上のロボットです。新人に業務を研修するように、電子労働者に業務フローを研修することで、淡々とその業務をこなしてくれます。

例えば、月給30万円で30人を雇って行う業務があるとしましょう。この場合、人件費として月々900万がかかります。

もしそれら全ての業務を、不眠不休で、ミスなく、完璧にこなす人材がいたらとすれば、あなたは雇いますか？ZEN AUTOなら、そんな人材をご用意できます。

オーダーメイドのため価格は変動しますが、
およそ優秀な人材1人分の人件費とお考えください。

※電子労働者の雇用に際し、ソフトウェアという特質上システム構築や高度な設計を伴うため、初期費用として3ヶ月分の費用をいただきます。

依頼をお受けするにあたって

以下を算定し、必要に応じて大規模料金となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

- ・アプリケーション、プラットフォームの連動数
- ・取得情報の数（単体の数十万件などではなく、取得先種類）
- ・こだわりや条件の複雑さや、難易度（取得スピードや弊社にしかできないものなど）、規模感、工数

他社で一度ご提案をされ、「構築が難しい」と言われてしまった内容のものであっても、是非一度ご相談下さい。

また、他社製品を導入したは良いものの、実際に使用してみて使いこなせないなど、ご相談も受け付けております。

パソコン上でできることは、全て自動化可能と思って頂いて結構です。ZEN AUTOにお任せください。

企業様に最適な、オーダーメイドのRPAを組むため、あらゆる情報をお聞かせ頂く必要がございます。

つきましては、ご依頼を頂いた企業様とは、全て弊社と秘密保持契約を組ませて頂きます。弊社から企業様の大事な情報が、外部に漏れることなどは一切ございませんので、ご安心してご依頼・ご相談下さい。

大幅な変更がある場合は別途契約となり、2回目以降はお値下げさせていただきます。小規模な変更であれば2~3週間の範囲内でご対応いたします。

お問い合わせ

株式会社 ZEN AUTO
〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2F

Mail : zen.auto.info@gmail.com Tel : 03-4500-8937
Fax : 03-6823-4537



HP



Facebook



LINE@

